

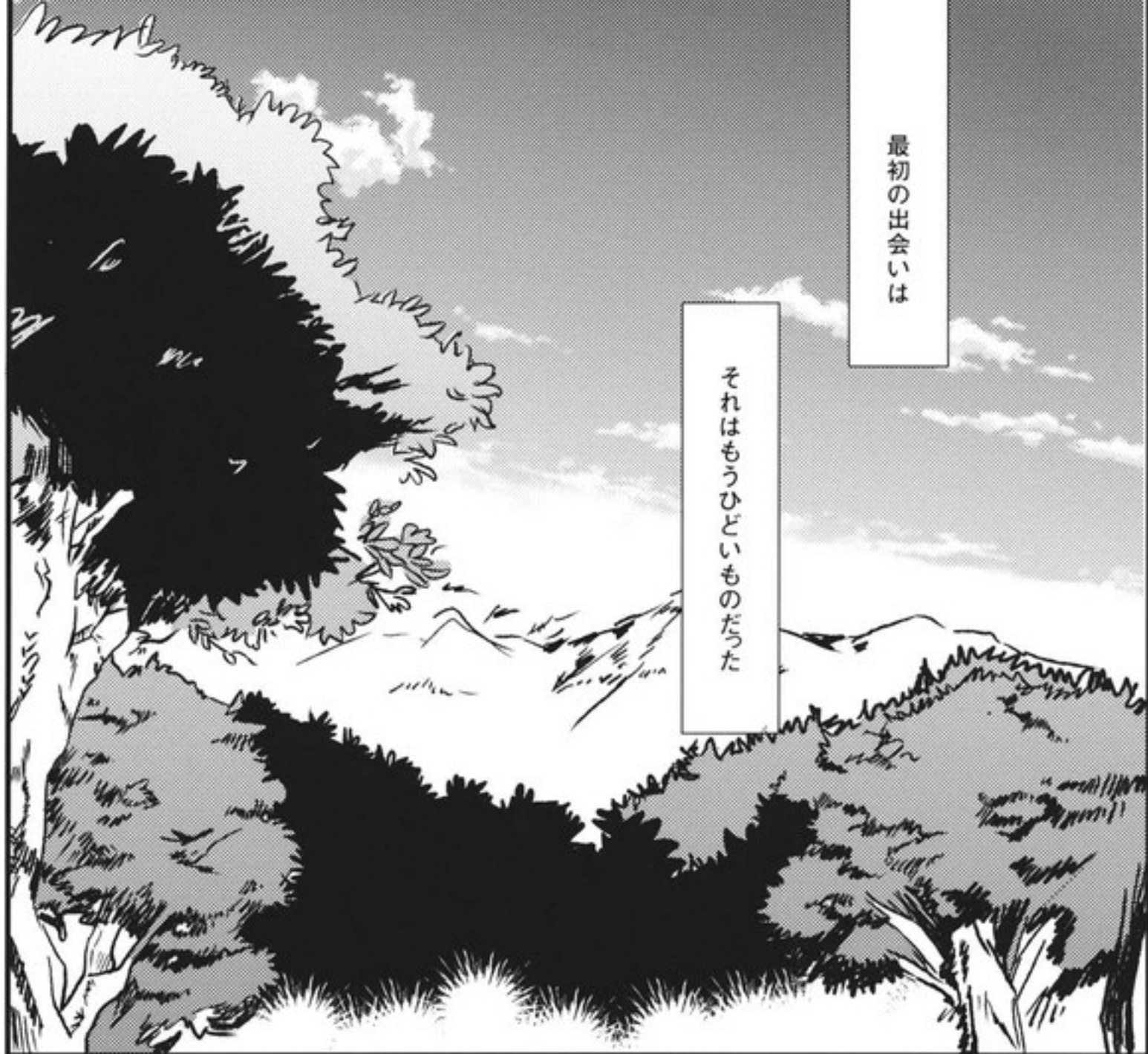


# Paradise lost

2015.08.14 presented by poprication.

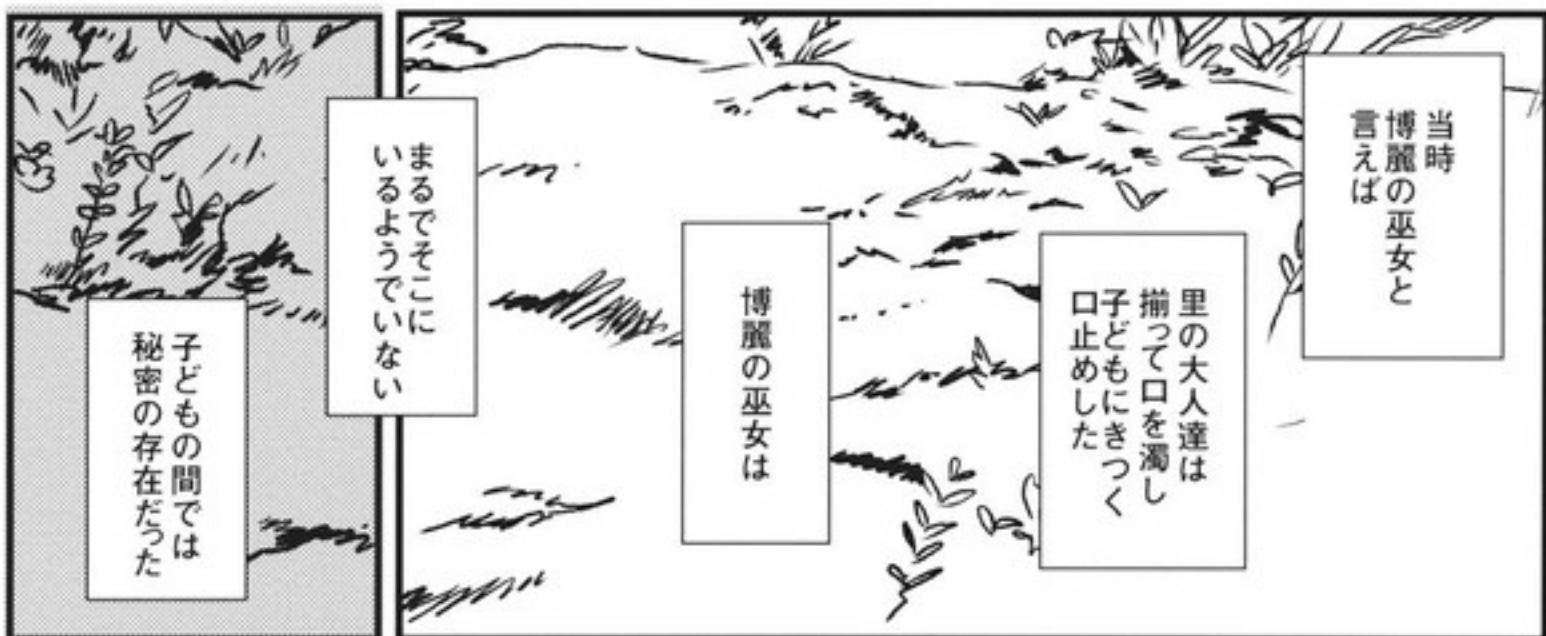
toho project unofficial  
reimu & marisa fanbook





最初の出会いは

それはもうひどいものだった



当時  
博麗の巫女と  
言えば

里の大人達は  
揃って口を濁し  
子どもにきつく  
口止めした

博麗の巫女は

まるでそこに  
いるようでない

子どもの間では  
秘密の存在だった

なんだよ

のだが



ただの  
ガキじゃん!









女中達の間でも  
噂になっている

頭が冷えるまで  
家から出るのも  
禁止だ

隠してあった  
おかしな本も道具も  
全て処分する！

分かったな!!

—その上巫女様に  
会いに行きた…っ？

そんな中

絶対にあそぶには  
近づくなと言ったはずだ  
忘れたのか

父だけは私を  
きつく咎めた

私の家はそこそこ  
名の知れた商家で

魔法道具や  
妖怪に関すること…

世間体を気にして  
色んな事が  
禁じられていた

何かに怯えるような  
張りに詰めた父の声も

決まって  
繰り返される

妖怪に怯えながら  
生きる籠のような  
里の暮らしにも

私はうんざり  
していて





—ああ、  
どこが

すっ  
と  
遠く

…ちよつと  
遠いけど  
香霖の所にでも  
匿ってもらって…

—  
ああ

匂いを  
辿ってみれば

こりゃあ  
美味そうな子どもだ



ツ…  
!?



あ…

人を食うのは  
いつぶりか

腹が減って  
死にぞうだあ

逃げないと

早く

なり…







妖怪は  
無闇に人間を  
襲っちゃいけない  
って知らなかった？

ったく

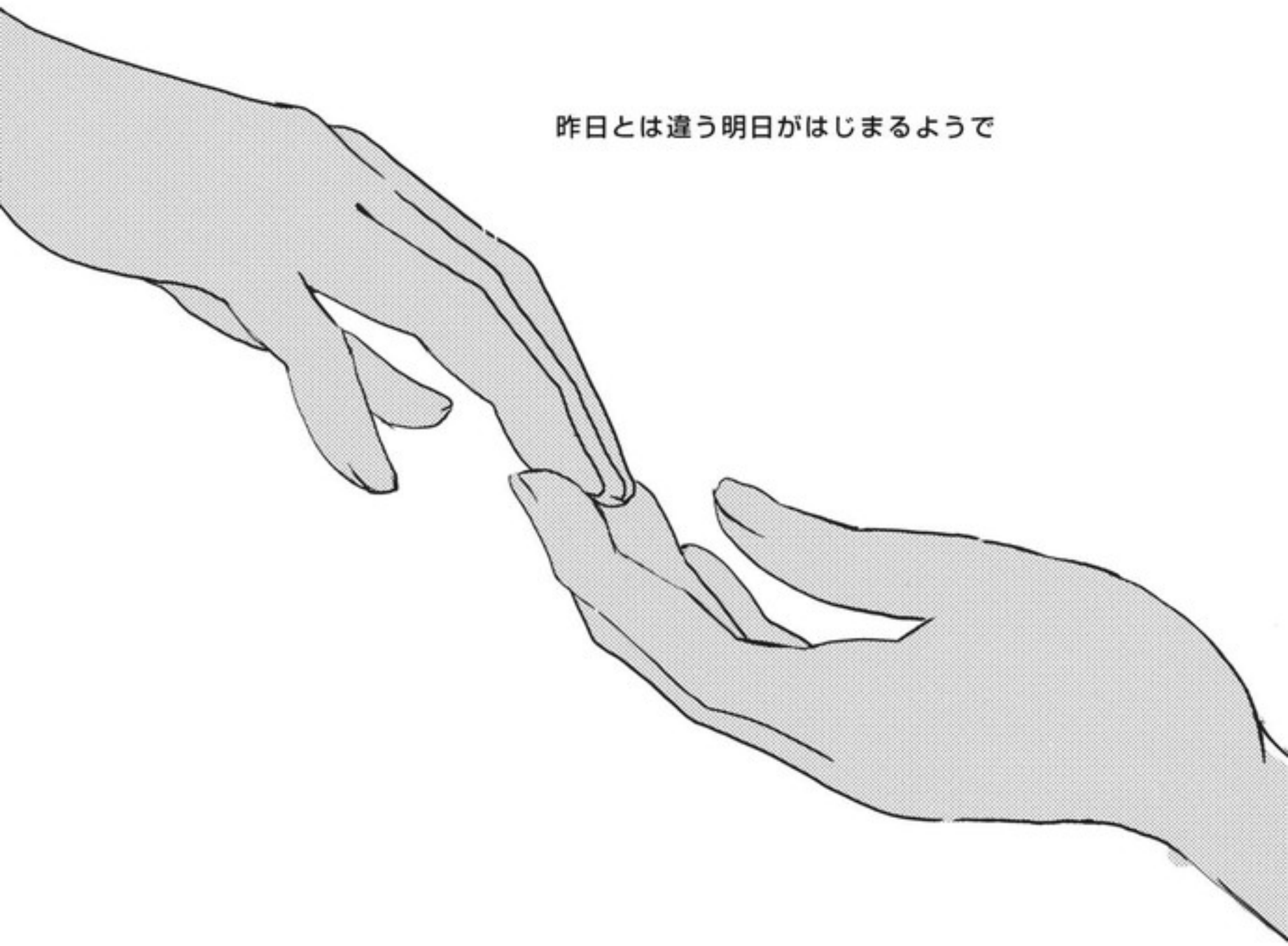
——大丈夫？

目が離せなかった



まるで

昨日とは違う明日が始まるようで



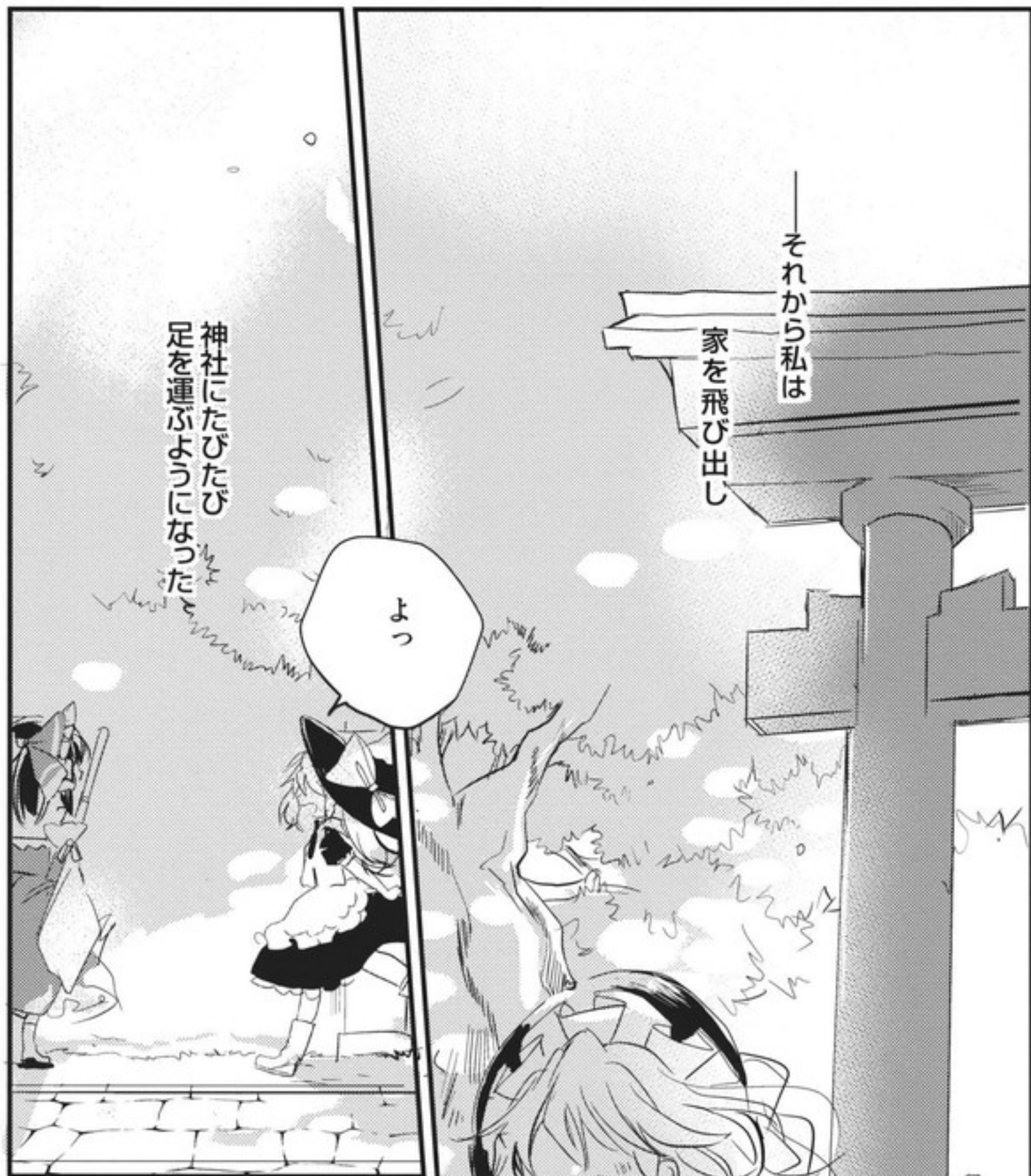


それから私は

家を飛び出し

よっ

神社にたびたび  
足を運ぶようになった



……ええと……



誰だっけ？

？

ま・り・さ!!  
何度目だよ  
名乗ったの!

ったく…

—いいか？

ほほほ

ほほほ

私は  
霧雨魔理沙、

普通の  
魔法使いだ!!

覚えとけ!

…霧雨

魔理沙…



かくして  
時が過ぎ

いまも  
霊夢は

この幻想郷の  
中心に据えられた  
博麗の巫女のまま

ノ、クオ・ダ・ス・  
ロ・ス・



34



お？



.....

.....







事実



博麗神社—  
霊夢の周りには



連日連夜  
妖怪ばかりが  
集まる

霊夢本人の  
意志や



涙ぐましい努力  
とは裏腹に





私が来たからには  
もう安心です!

さあ覚悟しなさい  
妖怪!



こっそり  
飼ってた猫の霊?

ただ餌を  
ねだりに来るだけえ...!?

夜中に倉の飯も  
分取りに来る...!?



まー嬉しそうに  
しちやって...

...え?

どうした!?





—あれ？

霊夢さんに  
魔理沙さん！



そこのお宅で  
何かあった  
んですか？

いや……

ニヤーン  
あつあつと  
あつあつと  
あつあつと  
あつあつと

大丈夫

無事解決  
したわ



良かったあ  
あそこのご主人  
ウチの顧客様で……

ガ

そんな事より  
小鈴ちゃん  
最近は何か  
危ないこと  
してない？  
大ま！

やだなあ  
ですよい  
……





よく見てるよな  
小鈴のこと

…お前さあ

…え？



ちゃんと  
見ててあげないと…



まあ  
危険だからねえ

鈴奈庵は

まち  
確かい



しょっちゅう  
気にかけてるし  
なんだかんだ  
優しいじゃん

そら？









—して、  
今日は何を  
知りたいのです？

博麗の巫女

ふわふわと  
宙に浮いて

何者にだって  
交わらない  
触れさせない

空のような  
自由さも

理屈や常識に  
とらわれない

凍とした  
その強さも

神様に  
愛された

不思議な  
少女

道教に  
こだわるのは

博麗の力の  
ルーツを  
知りたくて…

あん？





この幻想郷の  
システムについて  
どう考えていますか？

きみは

ああ  
人々は  
守られている

ああ

ただし  
種として…  
ってヤツか？

そうそう

人々は  
妖怪を畏れ  
恐怖し

それすら妖怪の  
存在のためと知らず  
都合よく保護されている

一生ね

この幻想郷は  
危うすぎる







私は強いし  
妖怪を怖れたり  
分らないから

…さてな

それに  
まあ



そのバランスと  
やらを守るために  
博麗の巫女が  
いるんだろ





——…そうですね



危うい、と

言いたかったのは  
むしろ君の方  
だったんだけどな

——ああ、  
それと……



私もな





私も以前

それで身体を  
壊したから



友を  
巻き込んでね



君はもっと身体を  
大事にしたほうがいい



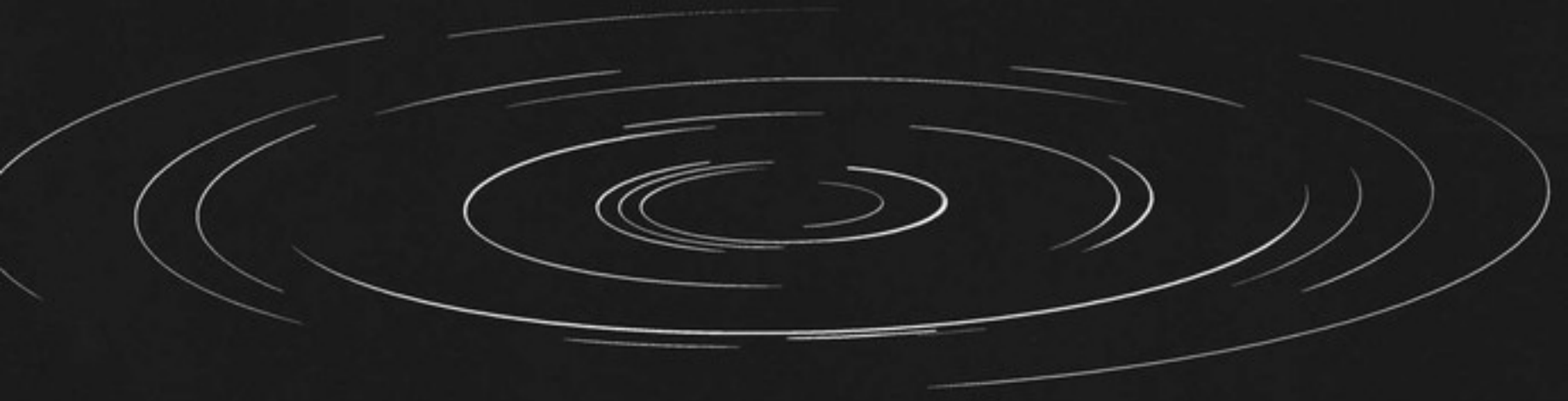
だから

健康に  
気をつけてるんだぜ










——忘れられた妖怪たちの楽園「幻想郷」



幻想郷とそのバランスを守るのが博麗の巫女の役目

人間の巫女が~~妖怪~~をまもっている——





いつまで  
寝てんのよ

こんなとこじゃ  
風邪引くわよ



魔理沙

はっ



ったく



わざわざ人の家に  
居眠りしに来るのなんて  
きつと魔理沙くらいね

フズ

あの頃に  
比べて

霊夢は  
ずいぶん変わった

妖怪に対して  
厳しいのは  
変わらずでも

なんだかんだ  
アイツらとは  
うまくやってるし

何よりも

他者に対して  
ずっと面倒見が  
良くなった

…起きてるか？

…うん？

——たったひとり  
で  
幻想郷を守る  
楽園の巫女

こいつは  
生まれた時から  
ずっとそうだったんだろうか



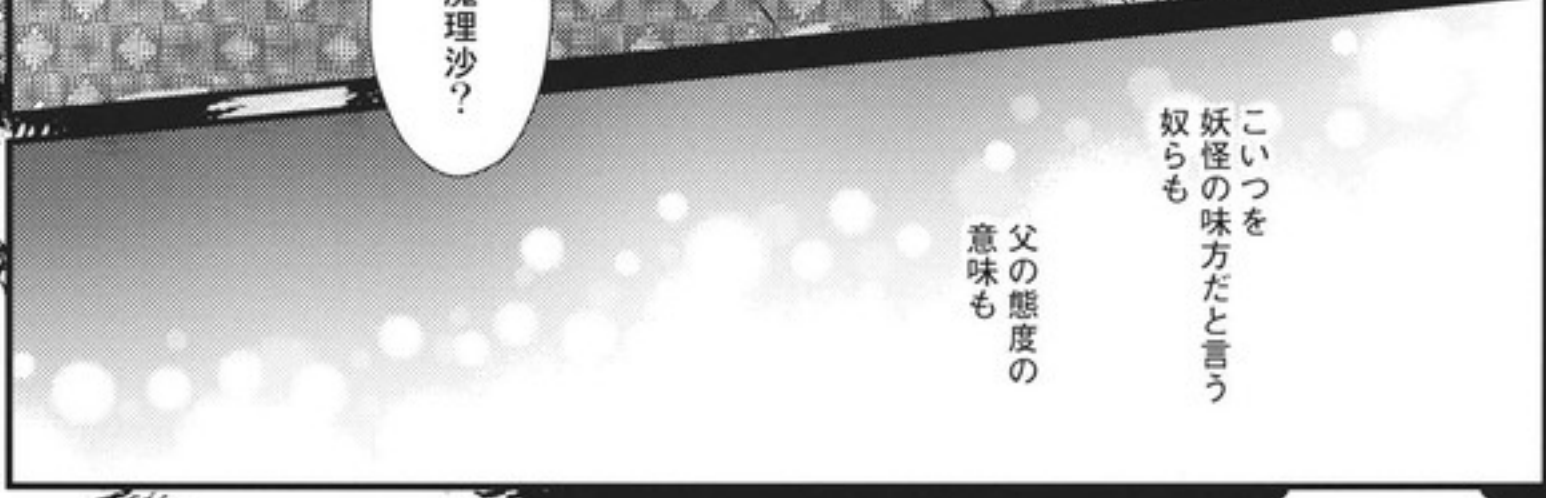


何よ  
What's going on?  
Hibiki

こんなに  
近くに  
いるから

分からなく  
なる

— 魔理沙？



こいつを  
妖怪の味方だと言う  
奴らも

父の態度の  
意味も



…お前も



困った時は  
言えよ

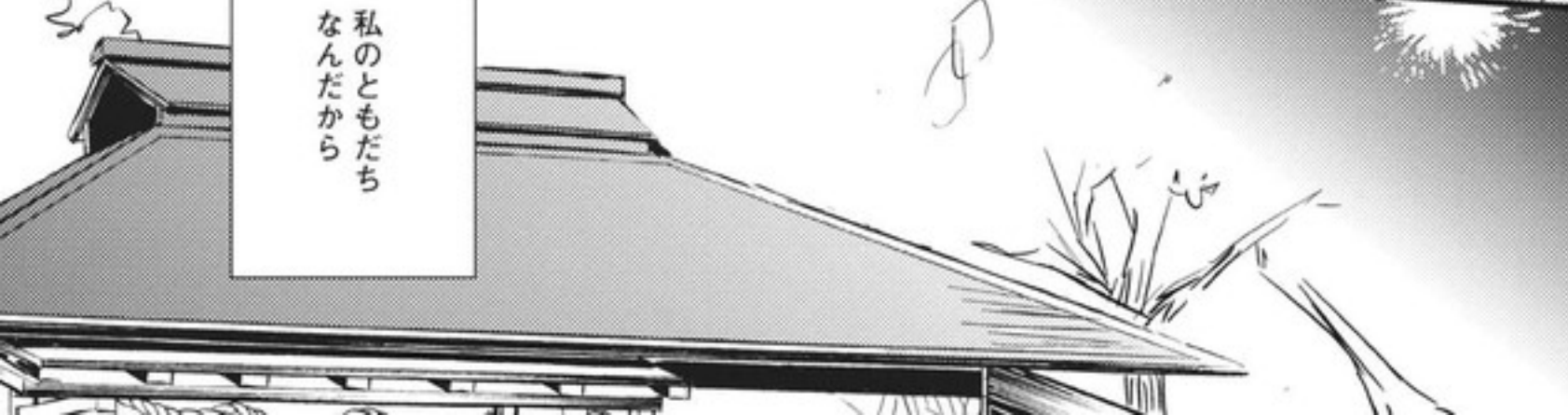


は？

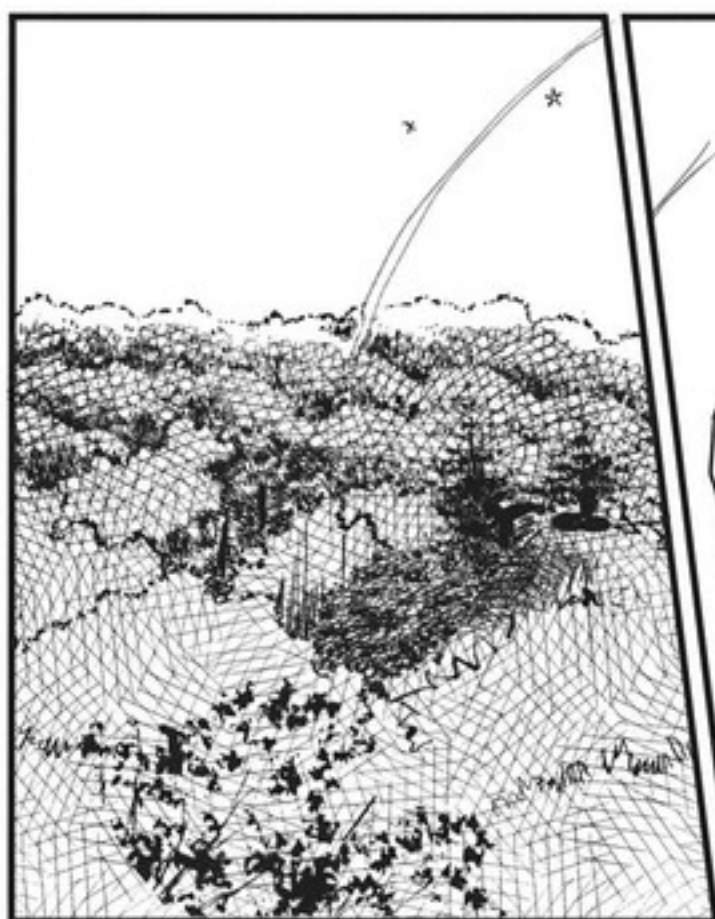
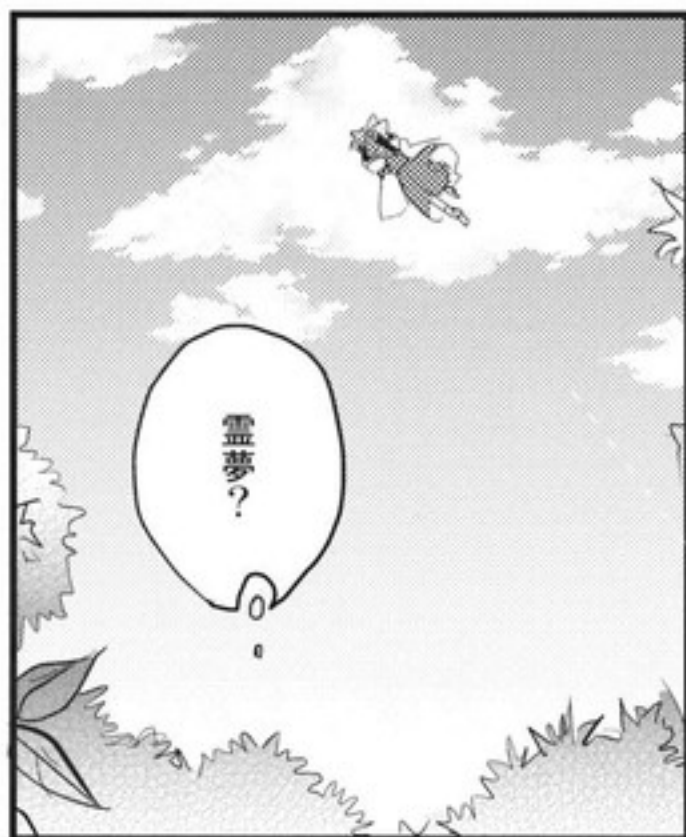


霊夢は

私のともだち  
なんだから









おーい

おーい  
霊夢〜



はっ!!  
あっちか



ほ  
大丈夫か  
霊夢!









—え？





妖怪？

—うせ、

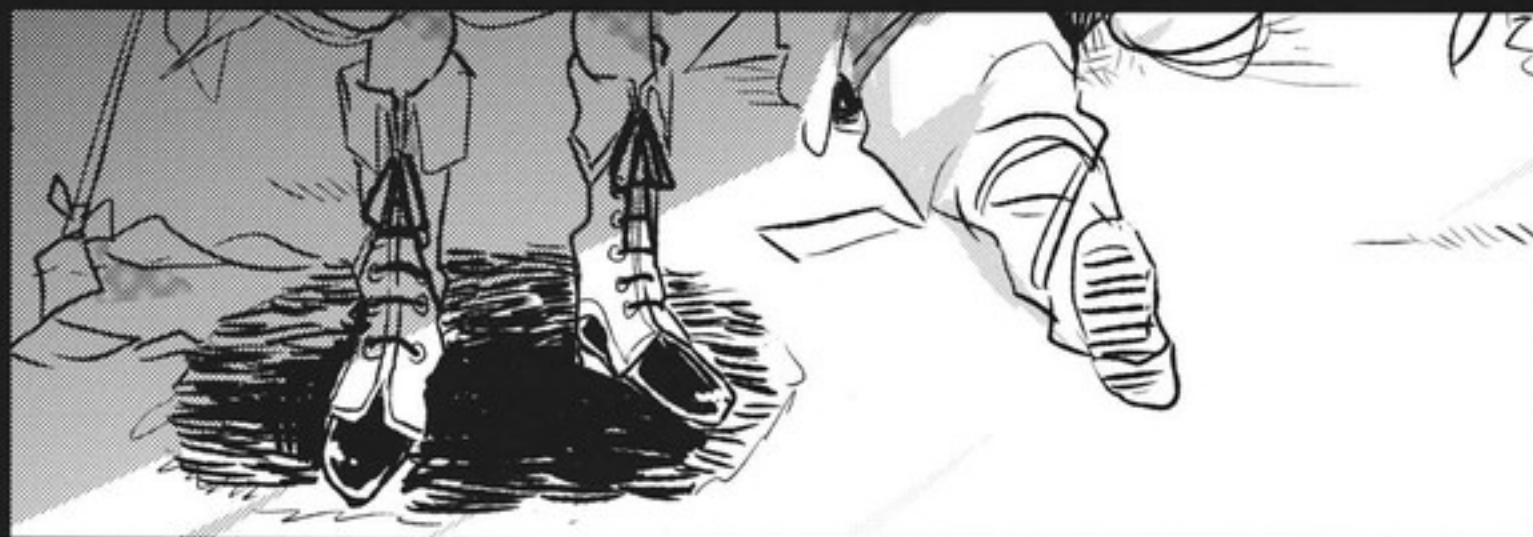
でも

人間？

…なあ  
それ…

—うせ、

人間、  
じゃ…





人間よ

元

——今にして思えば



——大丈夫？

きっと ヒントはそこら中に転がっていた



他者に興味がない

誰だっけ？

普通の  
魔法使いだ！

ひとりだったあいつが

覚えとけ！

初めて私を見たのは

——「霧雨、魔理沙」

最初に わたしの名前を覚えたのは いつだったろう

そう

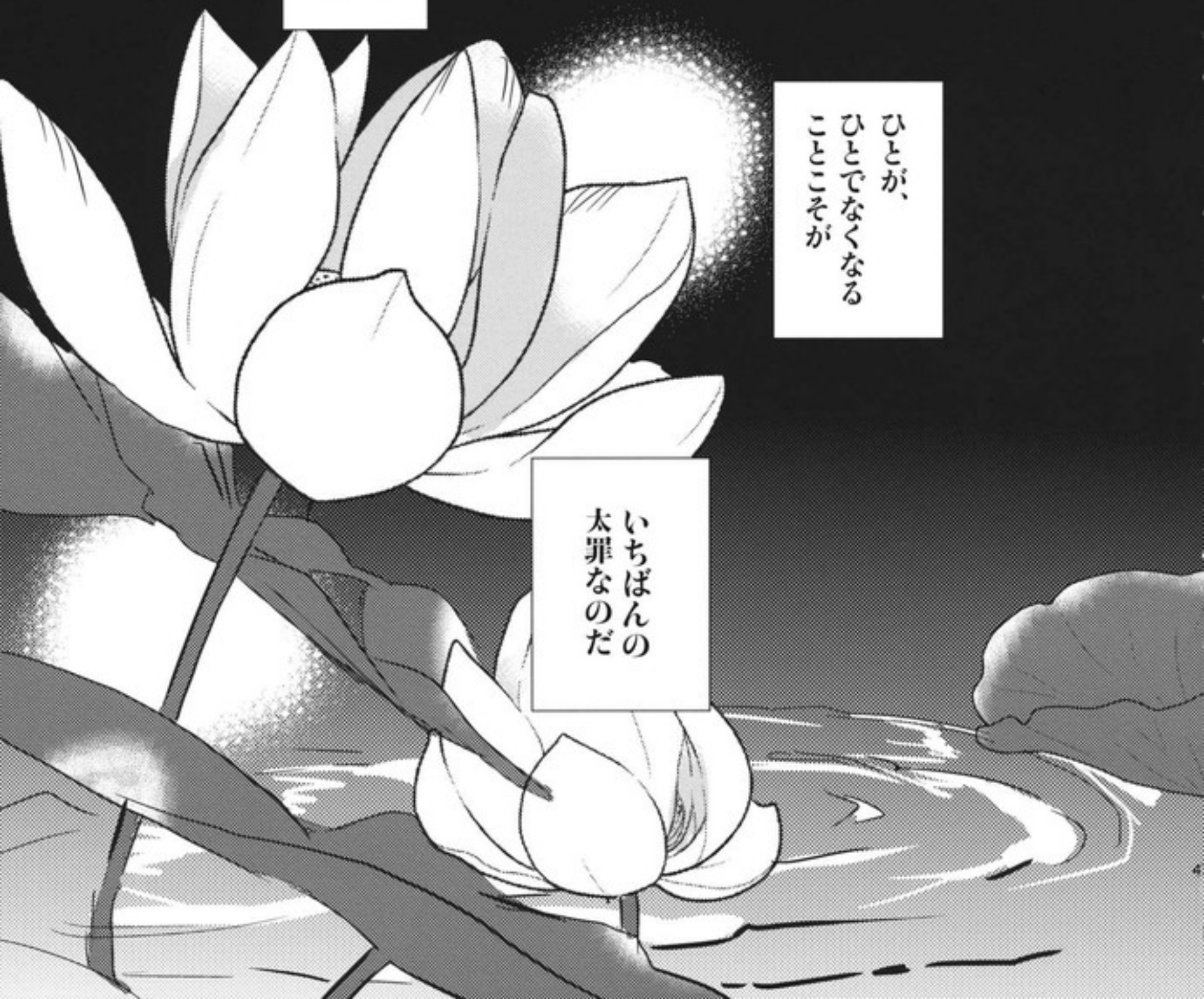
この楽園では

妖怪がひとを  
食べることや

ひとが犯す  
あらゆる  
罪過よりも

ひとが、  
ひとでなくなる  
ことこそが

いちばんの  
太罪なのだ





最初はここで終わる予定だったんですが  
原稿してたら続き描いてハッピー？にしたいくなって  
しまったので冬くらいに連作で続きを出します  
よろしければお付き合い頂けると嬉しいです。

## パラダイス・ロスト

2015.08.14

poprication/べにしゃけ

pixivID 1033632

web <http://ricecake.moo.jp>

mail [poprication@gmail.com](mailto:poprication@gmail.com)

原作/上海アリス幻楽団さま

印刷/くりえい社さま

表紙デザイン/サカモトナオさま (alpadesign)

ありがとう/べけさん





2015.08.14 presented by popprication.  
toho project unofficial reimu & marisa fanbook.  
Lotus land story.